

2023. 9. 25

2023年9月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 今月の基調判断は、「持ち直している」とし、前回（「緩やかに持ち直している」）から判断を引き上げました。判断を引き上げたのは2022年5月以来です。
- 需要項目別にみると、個人消費について、「物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している」と判断を引き上げたほか、公共投資についても、「高水準で推移している」と判断を引き上げました。

■個人消費の動向

（財消費関連）

- 大型店売上高は、物価上昇の影響を受けつつも、前年を上回って推移しました。衣料品は、外出機会の増加や旅行需要の回復を受け、持ち直しが続いたほか、食料品では、消費者の節約志向による買い上げ点数の減少などがみられましたが、購入単価が上昇するもとの増加しました。また、家電は、夏場の気温上昇を受けたエアコンや冷蔵庫の販売増加を主因に緩やかに持ち直しています。
- 新車登録台数は、車載向け半導体の調達環境が改善するもとの、メーカーからの完成車供給が進捗し、前年を上回って推移しています。

（観光関連＜インバウンド需要を含む＞）

- 観光は、ペントアップ需要の顕在化やインバウンド需要の改善を受けて回復しています。道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数は改善を続けており、8月まで23か月連続の前年比プラスとなっています。また、ホテル・旅館宿泊客数、旭川市内のホテル客室稼働率についても、前

年を上回って推移しています。各地観光施設の入込みをみると、旭山動物園、層雲峡、博物館網走監獄、利尻・礼文フェリー、ウトロ温泉とも前年を上回っています。

■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局合計の公共工事請負金額は、7月、8月は、前年を上回りました。

■住宅投資の動向

- 新設住宅着工戸数は、給与住宅の振れはありますが、基調としては減少しています。持家は減少傾向となっているほか、分譲は横ばい圏内で推移し、貸家は低水準で推移しています。

■雇用情勢

- 有効求人倍率は、このところ前年を下回って推移しているものの、企業の人手不足感は対面型サービス業を中心に強いことなどから、雇用情勢は緩やかに改善しているとみられます。

以 上